

U/Cサーバ 10.0.0～
注意事項とよくあるお問い合わせ

株式会社 広告EDIセンター

注意事項

- 本資料を無断で他に転載しないようお願いします。
- 本資料は、予告なしに変更する場合があります。
- 本資料の内容に不備がある場合は、ご連絡ください。

Microsoftとそのロゴ、Windows Server 2008 R2、WordPadは米国マイクロソフト社の商標または登録商標です。

変更履歴

版	更新日	変更内容
1	2013/12/27	新規作成
2	2017/08/30	システム名称変更

1.	はじめに	5
1.1.	名称について.....	5
2.	新U/C利用時の注意事項	6
2.1.	新U/Cにおけるデータ変換について.....	6
2.2.	U/Cの起動・停止について.....	9
2.3.	Windowsのログオフについて.....	9
2.4.	送信メールサーバについて.....	9
3.	よくあるお問い合わせ	11
3.1.	新U/Cを自動で起動/停止しているお客様.....	11
3.2.	新U/Cを手動で起動/停止しているお客様.....	13

1.はじめに

本書は、U/Cサーバ 10.0.0以降をご利用頂くうえでの注意事項と、お客様より多く頂くお問い合わせについて記述したものです。

1.1. 名称について

本書において使用する名称は以下の通りです。

- 新U/C
U/Cサーバ 10.0.0以降のU/Cを指します。
- 旧U/C
U/Cサーバ 5.0.0以前のU/Cを指します。
- UCS_HOME
U/Cをインストールしたフォルダを指します。例えば、U/Cのインストールフォルダを「C:¥Adedi」とした場合、UCS_HOMEはC:¥Adediとなります。

2.新U/C利用時の注意事項

新U/Cをご利用頂くうえで、お客様には何点かご注意頂く事項がございます。以下章より説明しております注意事項を必ずご確認くださいませよう、お願い致します。

2.1.新U/Cにおけるデータ変換について

2.1.1.データ変換の概要

旧U/CではCIIフォーマットを使用してデータ交換を実施していましたが、新U/Cでは固定長(CIIフォーマット変換前)フォーマットを使用してデータ交換を行います。その為、旧U/Cと新U/Cでは使用しているデータフォーマットが異なりますが、広告取引EDIシステム内でデータフォーマット変換処理を実施することで、相互のデータ交換を実現しています。

広告取引EDIシステム内におけるフォーマット変換処理は、旧U/Cのフォーマット変換処理と比べ、定義に対するチェックが厳密に行われます。そのため、旧U/Cで利用できていたデータが新U/Cではエラーや警告が発生する場合があります、お客様が使用している業務システム側での対応が必要となる可能性がございますので、使用するデータに注意が必要となります。

新U/Cをご利用頂く場合のデータ内容に関する注意事項に関しましては、「2.1.2各属性における定義の概要および注意事項」をご参照ください。

2.1.2.各属性における定義の概要および注意事項

広告取引EDI標準メッセージ集で定義されている、各項目の属性の概要と、各属性における新U/Cでの注意事項を以下の通り説明します。広告取引EDI標準メッセージ集をご参照のうえ、ご確認ください。

【文字データ：(X属性)】

- 定義内容
X属性には、漢字を含まない半角英数の文字列を指定することが可能です。
- 注意事項
 - ✓ X属性の項目に全角文字が含まれていた場合、送信できません。
 - ✓ X属性の項目に全角空白が含まれていた場合、送信できません。

表 2-1 新旧処理結果

業務データに含まれている文字	新U/Cから送信した場合	旧U/Cから送信した場合
全角文字	フォーマット不正のため、以下エラーが発生します 「送信データのフォーマットが不正です。」	正常終了
全角空白	フォーマット不正のため、以下エラーが発生します 「送信データのフォーマットが不正です。」	正常終了

表 2-2 データパターンの例と処理結果(□は全角空白、^は半角空白を表す)

データパターン	例	処理結果
半角空白のみ	~~~~~	○
半角文字のみ	aaaaaa	○
前方に半角空白、後方に半角文字	^aaaa	○
前方に半角文字、後方に半角空白	aaaa^	○
半角空白と半角文字混在	aa^aa	○
半角数値のみ	9.9999	○
全角空白のみ	□□□	×
全角文字のみ	あああ	×
前方に全角空白、後方に全角文字	□ああ	×
前方に全角文字、後方に全角空白	ああ□	×
全角空白と全角文字混在	あ□あ	×
前方に全角空白、後方に半角文字	□aaaa	×
前方に半角文字、後方に全角空白	aaaa□	×
全角空白と半角文字混在	aa□aa	×
前方に半角空白、後方に全角文字	^ああ	×
前方に全角文字、後方に半角空白	ああ^	×
半角空白と全角文字混在	あ^あ	×

【文字データ(日本語) : (K属性)】

- 定義内容
 - K属性には、漢字を含めた全角文字列を指定することが可能です。
- 注意事項
 - ✓ K属性の項目に半角文字が含まれていた場合、送信できません。
 - ✓ K属性の項目に半角空白が含まれていた場合、送信できません。

表 2-3 新旧処理結果

業務データに含まれている文字	新U/Cから送信した場合	旧U/Cから送信した場合
半角文字	広告取引EDIシステム内部で変換エラーが発生します ※新U/Cではデータチェック処理の結果、ステータスは「警告」となりますが、送信は可能です。	正常終了
半角空白	広告取引EDIシステム内部で変換エラーが発生します ※新U/Cではデータチェック処理の結果、ステータスは「警告」となりますが、送信は可能です。	正常終了

表 2-4 データパターンの例と処理結果

データパターン	例	処理結果
全角空白のみ	□□□	○
全角文字のみ	あああ	○
前方に全角空白、後方に全角文字	□ああ	○
前方に全角文字、後方に全角空白	ああ□	○
全角空白と全角文字混在	あ□あ	○
前方に全角空白、後方に半角文字	□aaaa	×
前方に半角文字、後方に全角空白	aaaa□	×
全角空白と半角文字混在	aa□aa	×
半角空白のみ	~~~~~	×
半角文字のみ	aaaaaa	×
前方に半角空白、後方に全角文字	~ああ	×
前方に全角文字、後方に半角空白	ああ~	×
半角空白と全角文字混在	あ~あ	×
前方に半角空白、後方に半角文字	~aaaa	×
前方に半角文字、後方に半角空白	aaaa~	×
半角空白と半角文字混在	aa~aa	×
半角数値のみ	9.9999	×

【浮動小数点数 : (N属性)】

- 定義内容
N属性には、数値・小数点・符号を使用することが可能です。
- 注意事項
 - ✓ 正負符号を使用する際に符号が数値の先頭でない場合、送信できません。

表 2-5 新旧処理結果

業務データに含まれている文字	新U/Cから送信した場合	旧U/Cから送信した場合
符号が先頭でない	広告取引EDIシステム内部で変換エラーが発生します。 ※新U/Cでは正常終了となります。	正常終了

表 2-6 データパターンの例と処理結果

データパターン	例	処理結果
符号が数値の先頭	-123456 +123456	○
数値のみ	123456	○
符号が数値の間に付与	123-456	×
符号が数値の後方に付与	123456-	×
符号が数値の間、数値の後方に付与	123-456-	×
符号が数値の先頭、数値の間に付与	-123-456	×
符号が数値の先頭と後方に付与	-123456-	×
小数点と符号が数値の先頭に付与	.-123456	×
小数点と符号が数値の後方に付与	12345.-	×
符号と小数点が混在	12-3456. 1.-234	×

【固定小数点数 : (9属性)】

- 定義内容
9属性には、数値を使用することが可能です。
- 注意事項
なし

2.2.U/Cの起動・停止について

※ 本注意事項に関しては、U/Cサーバのバージョンが「10.0.0」、「10.1.0」をご利用頂いているお客様のみ対象となります。

U/Cを起動・停止するためには、「UIServer」サービス、「UcsLog」サービス、及び「UCController」、「ScheduleController」をそれぞれ起動・停止する必要があります。

「UCController」、「ScheduleController」の起動と停止については、OSを再起動することによって自動的に起動・停止する方法と、手動にて起動・停止する方法があります。

手動にて「UCController」と「ScheduleController」を起動した場合は、**必ず手動で停止してください。手動で起動した状態のままOS再起動を行うと、「UCController」と「ScheduleController」は正常に自動停止・自動起動されず、登録済みの送受信スケジュールが起動されない事象が発生します。**

以下「表 2-7 U/C起動方法と停止方法の組み合わせ」に、U/Cの起動方法に対して正常にU/Cを停止・起動可能な停止方法の組み合わせをマトリクスとしてまとめましたのでご参照頂き、ご注意ください。

表 2-7 U/C 起動方法と停止方法の組み合わせ

U/C停止方法 \ U/C起動方法	OS再起動による自動停止	手動停止
OS再起動による自動起動	○	○
手動起動	×	○

2.3.Windowsのログオフについて

※ 本注意事項に関しては、「UCController」、「ScheduleController」を手動で起動・停止しているお客様のみ対象となります。

「UCController」、「ScheduleController」の起動・停止を手動にて実施頂いている場合、Windowsをログオフしてしまいますと、「UCController」、「ScheduleController」も停止してしまい、登録済みの送受信スケジュールは起動せず、次回以降U/Cは正常に起動できなくなってしまいます。

手動にて「UCController」、「ScheduleController」を起動・停止しているお客様は、Windowsのログオフの実施はお控え頂きますようお願い致します。

お客様環境にて定められている運用の内容上、サーバの画面を長時間開いた状態にしておくことが難しいということであれば、画面ロックを実施頂けるよう、お願い致します。

2.4.送信メールサーバについて

新U/Cでは、メール通知機能をご利用頂けますが、以下2点につきましては現在対応しておりませんので、ご注意ください。

- SSLを利用したメールの送信
- ユーザ認証を利用したメールの送信

3.よくあるお問い合わせ

本章では、お客様より多く頂く「新U/Cが起動しない」、「操作中にエラーが発生する」等のお問い合わせに対して、確認頂く内容と対応方法を説明します。

なお、「UCController」および「ScheduleController」の起動・停止方法が自動か手動かによって、確認頂く内容と対応方法が異なります。そのため、お客様にてご利用頂いている新U/Cが自動で起動/停止しているのか、手動で起動/停止しているのかをご確認のうえ、以降の章をご参照ください。

- 「UCController」、「ScheduleController」をローカルグループポリシーより**自動**で起動/停止しているお客様は、以下章をご参照ください

3.1新U/Cを自動で起動/停止しているお客様 (P.11)

- 「UCController」、「ScheduleController」を**手動**で起動/停止しているお客様は、以下章をご参照ください

3.2新U/Cを手動で起動/停止しているお客様 (P.13)

3.1.新U/Cを自動で起動/停止しているお客様

事象	対応方法
画面操作中に、「処理の起動に失敗しました(11)」と表示され処理続行できない	「Q1TaskManager・SystemManagerの操作中に「処理の起動に失敗しました(11)」と表示され処理続行ができない」(P.11)をご確認ください。
OS再起動後にスケジュール送信、または受信ができない	「Q2OS再起動後にスケジュール送信または受信が起動されない」(P.12)をご確認ください。

Q1. TaskManager・SystemManagerの操作中に「処理の起動に失敗しました(11)」と表示され処理続行ができない

A1. 「UCController」、「ScheduleController」は起動していますか？

以下手順でコマンドを実行頂き、現在の「UCController」、「ScheduleController」の起動状況をご確認ください。

- ① コマンドプロンプトを開く
「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」

- ② 以下コマンドを実行

```
UCS_HOME¥UcsProgram¥bin¥ucs.bat status
```

- ③ コマンド実行後の結果を確認

1. 「停止済み」と表示された場合

```
UCController      は停止済みです。  
ScheduleController は停止済みです。
```

コマンド実行後、「停止済みです。」と表示された場合は「UCController」、「ScheduleController」が停止しています。OSを再起動し、「UCController」、「ScheduleController」を自動的に起動してください。

2. 「起動済み」と表示された場合

UCController	は起動済みです。
ScheduleController	は起動済みです。

コマンド実行後、「起動済みです。」と表示された場合はU/Cは正常に起動しておらず、送受信スケジュールも正常に起動していない可能性があります。サポートデスクまでお問い合わせください。

Q2. OS再起動後にスケジュール送信または受信が起動されない

A2. ローカルグループポリシーへの自動起動・停止設定を行っていますか？

ローカルグループポリシーへの、「UCController」、「ScheduleController」自動起動・停止設定が行われているか、以下手順で確認してください。

① 以下コマンドを実行

<code>UCS_HOME¥operation¥init¥group_policy.bat</code>

② 「コンピュータの構成」>「Windows の設定」>「名前解決ポリシー」>「スクリプト(スタートアップ/シャットダウン)」を選択

③ 「スタートアップ」をダブルクリックし、以下内容で登録されているか確認

名前	UCS_HOME¥UcsProgram¥bin¥ucs.bat
パラメータ	startup

④ 「シャットダウン」をダブルクリックし、以下内容で登録されているか確認

名前	UCS_HOME¥UcsProgram¥bin¥ucs.bat
パラメータ	shutdown

⑤ ③、④を確認した結果、「スタートアップ」及び「シャットダウン」の設定が行われていなければ、設定を追加し、OS再起動を実施してください。

③、④を確認した結果、設定が正しく行われていた場合は、ローカルグループポリシーに設定した自動起動・停止処理が正常に起動していない可能性があります。以下3点を取得頂き、お手数ですがサポートデスクまで送付してください。

●ローカルグループポリシーの設定状況

1. コマンドプロンプトを開く
2. 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」
3. コマンドプロンプト上で、以下コマンドを実行し、出力されたファイルを取得
`gpreresult /V > [出力先ファイル名(任意)]`

●Windowsのイベントログ(アプリケーション/システム)

●新U/Cの以下ログ

UCS_HOME¥Logs¥ucs-core.log
UCS_HOME¥Logs¥ucs-ui-server.log

3.2.新U/Cを手動で起動/停止しているお客様

事象	対応方法
画面操作中に、「処理の起動に失敗しました(11)」と表示され処理続行できない	「Q1TaskManager,SystemManagerの操作中に「処理の起動に失敗しました(11)」と表示され処理続行ができない」(P.13)をご確認ください。
U/C起動・停止時のコマンド実行で「アクセスが拒否されました。」というエラーが発生する	「Q2U/C起動/停止時のコマンド実行で「アクセスが拒否されました。」というエラーが発生する」(P.14)をご確認ください。

Q1. TaskManager,SystemManagerの操作中に「処理の起動に失敗しました(11)」と表示され処理続行ができない

A1. 「UCController」、「ScheduleController」は起動していますか？

以下手順でコマンドを実行頂き、現在のU/Cの起動状況をご確認ください。

- ① コマンドプロンプトを開く
「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」

- ② 以下コマンドを実行

```
UCS_HOME¥UcsProgram¥bin¥ucs.bat status
```

- ③ コマンド実行後の結果を確認

1. 「停止済み」と表示された場合

```
UCController      は停止済みです。
ScheduleController は停止済みです。
```

コマンド実行後、「停止済みです。」と表示された場合はU/Cが停止しています。以下手順でU/Cの手動起動の実施をお願い致します。

- A) 以下起動コマンドを実行

```
UCS_HOME¥UcsProgram¥bin¥ucs.bat startup
```

- B) 起動されたことを、確認コマンドを実行し、以下の通り出力されることを確認

```
UCS_HOME¥UcsProgram¥bin¥ucs.bat status
```

```
UCController      は起動済みです。
ScheduleController は起動済みです。
```

2. 「起動済み」と表示された場合

```
UCController      は起動済みです。
ScheduleController は起動済みです。
```

コマンド実行後、「起動済み」と表示された場合はU/Cは正常に起動しておらず、送受信スケジュールも正常に起動していない可能性があります。サポートデスクまでお問い合わせください。

Q2. U/C起動/停止時のコマンド実行で「アクセスが拒否されました。」というエラーが発生する

以下、エラー発生時に出力されるエラーメッセージの例です。

```
<UCS_HOME>%UcsProgram%bin>ucs.bat shutdown  
log4j:ERROR setFile(null,true) call failed.  
java.io.FileNotFoundException: logs%ucs-command.log (アクセスが拒否されました。)
```

A2. コマンド実行時のユーザは、新U/Cインストール時と同一ユーザですか？

U/C起動・停止コマンドを実行する際のユーザに、コマンドを実行するためのアクセス権限が不足している可能性があります。コマンド実行時のユーザが新U/Cをインストールした時と同一ユーザであることを確認してください。